

2003-2004 年度



鈴鹿西プロバスクラブ活動報告



2004 年新春家族懇親会 (鈴鹿サーキットで)



鈴鹿サーキットグランドゴルフ大会

ロータリー国際大会に
全日本プロバス協議会 2004
大阪会議を開催



2003-2004 年度を振り返り

2003-2004 年度会長 松本 裕夫

一瀉千里を走る感の一年間でありました。その間、幹事・役員・理事そして会員各位の格別のご支援とご協力を頂き、この年度が終了できましたことを感謝申し上げます。

当クラブ第 4 期目に入るに当り、理事会でクラブ運営上の問題点を検討、指摘された事項は、「クラブは、全員で創り上げる組織という醸成が必要である。会員のクラブに対する帰属満足度向上への配慮が必要である。委員会活動の是正を要する。役員・理事・委員長候補の推挙の仕組みが明確でない。委員会活動計画と予算執行との整合を図る。クラブ連絡と応答依頼に反応がない場合がある。」というものでありました。

それらを踏まえ、当該年度の考え方を以下のように設定しました。

1. クラブの綱領に基づく活動の推進
2. クラブ活動の原点となる委員会活動の推進
3. 安定したクラブ規模への会員増強

期末に当り、概括的な当該年度実施事項と反省点は、以下の通りであります。

1. クラブの綱領に基づく活動の推進：

- (1) 会則改定を行い、従来慣行として実施されていた事項の明文化、会則の不備な条文を追加・是正。これに伴い、役員・理事の推挙の仕組みとして役員推薦委員会設置を明記し、当該年度から実施。クラブのネーミングについて提案はあったが、検討の結果変更改定までには至らなかった。
- (2) 次期理事・役員選出を前倒し議決する臨時総会を開催し、次期への移行に支障を来たさない運びに変更した。今後、運営上に規定条文化が必要とされる。
- (3) 例会運営について、全員参加でクラブ・ライフのエンジョイをモットーとしたが、参加率は平均的に約 70% である。定例会場以外での開催に際しては、低い参加率の継続、例会時の会員発言への十分な配慮等は、必ずしも期待に充足するものと至らなかった。

2. クラブ活動の原点となる委員会活動の推進

- (1) クラブ運営・親睦交流・知的研究・社会奉仕の 4 委員会 で年 3 回の例会担当月を設定、企画・運営を依頼、委員会活動の活発化を要請した。委員会参加メンバーが限られたが、委員長・副委員長中心に活動の工夫と努力で進められた。
- (2) 何れのプロジェクトも、会員満足度向上への工夫と奉仕的活動で、参加者には好評の例会運営がされた。今後とも、委員会メンバーの委員会参画と、魅力ある活動プロジェクトの設定と運営が期待されている。
- (3) メールリングリスト (ML: probus-suzukaw@yahoogroups.jp) 活用によるクラブ関連情報や運営の交信がされているが、IP アドレスや FAX 未取得者への連絡が電話に限定され齟齬が生じ、前期から継続しての改善課題である。
- (4) 鈴鹿西ロータリークラブへ後援事業「鈴鹿市児童コンクール」と「不登校児童・生徒の適応指導教室『さつき教室』への支援」を実施し、プロバスクラブ会員ならではの協力・支援活動がされ、マスコミにも取り上げられた。
- (5) 会員家族の例会参加を期に、会員家族のインフォーマルな交流がされつつある。

3. 安定したクラブ規模への会員増強

- (1) 安定した例会運営規模として40名を数値目標と設定したが、期初の33名に対し、努力はされたものの、入会は竹内弘・羽田規夫・吉川勝敏・大井正美さんの4名に留まり、今後の継続した推進が必要である。
- (2) 鶴田耕一・神崎邦男さんの休会申し出に続き、期中に野村仲三郎さんの休会申し出があり、浅川守生・上田好彦さんの退会があったが、女性初の大井正美さんの入会を得たことは今後期待される喜ばしい動きである。
- (3) 以上の結果、期末の会員数は35名である。

4. 特記事項として、

- (1) 三重県下に伊勢はまゆうクラブ、四日市南プロバスクラブに続き、松阪・鈴プロバスクラブが2003年10月23日に設立された。それを期に県内の連絡網として三重県プロバスクラブ会長・幹事会が設置された。当クラブが初年度当番クラブとなり、2003年12月3日、2004年3月25日と2回の会合を開催。各クラブの情報交換を行った。今後継続して開催が予定されている。(次期は、伊勢はまゆうクラブの担当)
- (2) 2004年5月23日、全日本プロバス協議会2004大阪会議が開催され、当クラブから会員家族15名が参加した。全国から28クラブ、157名が参加、プロバスクラブに緩やかな横の連絡組織を創立した。同協議会には、会長に大阪プロバスクラブ中村健氏、幹事長に長谷川元耶氏を選任、監査人に当クラブから松本裕夫を選出。会議後、エンターテインメントに続きフォーラムが開催され、プロバスクラブのあり方等が議論された。プロバス協議会のML: probus-mail@yahoogroups.jpで会員間の交流がされている。
- (3) 2004年5月23日から26日まで、国際ロータリーの年次国際大会(関西)の開催に際し、プロバスクラブ会員の初参加が認められて、当クラブより13名の会員・家族が参加した。開会式・ワークショップや鈴鹿西ロータリークラブとの合同会合に参加。特に、ワークショップ「高齢者への奉仕」では、鈴鹿西ロータリークラブの社会奉仕活動が当クラブとの協働で実施され、プロバスクラブの活動事例として紹介がされた。大会参加者からは、得がたい体験をしたと評された。
- (4) 鈴鹿西ロータリークラブとの協定書は、2004年6月15日更改され、次期に継続して運用される。

各委員会の活動の詳細は、別掲の通りであります。

年度を通じて、格別のご尽力を頂いた笠井誠之助幹事と理事各位に、更たためて、厚く御礼を申しあげ、真摯な取り組みでクラブ運営を頂いたことに深甚の敬意を表します。

「プロバスクラブとは何か、何をすべきか」は、継続して会員が取組むべき課題であり、時に応じて議論と対応がされるべきでしようが、会員の帰属満足度の向上とクオリティ・オブ・ライフを高めるものとならなければ、クラブの永続的存在には無理が生ずるものであり、共通する会員の思いを収斂する指向が求められていると思料します。

今期を振り返り、エンジョイ・プロバス、会員の期待に応える運営がされたか、内心忸怩たる思いにかられますが、次年度の第5期がエポックメイキングな発展の年度になることを期待する次第であります。

2004年6月20日

クラブ運営委員会 活動報告

(2003年7月～2004年6月)

委員長：笠井誠之助 副委員長：酒井紀昌

委員：山西康裕、仲村義昌、諸岡忠至、後藤忠生、神崎邦男、竹内 弘

例会開催状況

開催月	会場	例会内容	参加数
H15年 7月	鈴鹿サーキット	定時総会・決算承認・役員選出・委員会構成・活動報告、7月例会開催	24名
8月	鈴鹿サーキット	2003～2004年度 事業活動計画について各委員会からの説明	21名
9月	月の庭(亀山)	スロー文化に接し、味わい、楽しみ、「オーガニックに生きる、食べる、語ろう」	22名
10月	鈴鹿サーキット	不登校児童、生徒の現状とその対策について 講師 市教育研究所長 樋口照明様	24名
11月	御在所と希望荘	御在所の紅葉観賞。 希望荘にて昼食と温泉を楽しむ	25名
12月	県民の森、 そばの華、 Paramita Museun	県民の森ウォーキングコースの散策・ そばの華にて昼食 パラミタ MUSEUM 鑑賞と例会開催	22名
H16年 1月	鈴鹿サーキット	新年会 バイキング料理を囲み賀詞交換を行う、奥様10名ご参加	34名
2月	鈴鹿回生総合病院	「高齢者の健康づくり教室」 講師 東海大学教授 田中 誠一様	30名
3月	パビ - ラ御殿場	箱根彫刻の森美術館見学、MOA美術館見学、 掛川花鳥園見物、パビ - ラ御殿場宿泊	16名
4月	鈴鹿サーキット	グランドゴルフ大会 昼食はバイキング料理を楽しむ	21名
5月	鈴鹿文化会館	小栗康平監督映画鑑賞と奉仕活動	19名
6月	ホテルグリーン・ パーク鈴鹿	臨時総会・新年度理事・役員承認・今年度事業活動報告外	26名

親睦交流委員会 活動報告

(平成 15 年 7 月 ~ 16 年 6 月)

委員長: 前田征司 副委員長: 井上敏一

委員: 岡田武紀、小林良輔、中森暢夫、藤田 収、松木邦夫、水上義人

開催日	行事内容	場所
H15.11.20	御在所の紅葉観賞と昼食会 ロープウェイにて山頂散策後、希望荘にて 昼食と温泉を楽しむ 25 名参加	御在所岳と希望荘
H16. 1.15	新年会 バイキング料理を囲んで新年の賀詞交換を 行う。 24 名参加、奥様参加 10 名	鈴鹿サーキット ハナカイドウ
H16. 4.15	グランドゴルフ大会 プロバス初の大会を開催、その後 バイキング料理を楽しむ 21 名参加	鈴鹿サーキット フラワープラザ
H15. 8. 7	プロバス有志によるゴルフコンペ 会員 12 名参加 (例会外)	鈴峰ゴルフ倶楽部
H15.10.6	当クラブ後援の、CNS 市民チャリティ・ゴルフ への参加 会員 12 名参加 (例会外)	鈴峰ゴルフ倶楽部

年度計画では、平成 16 年 4 月はMIHO美術館を訪問する予定であったが、3 月半ばまで休館のため急遽予定を変更してグランドゴルフ大会に切り替えた。

知的研究委員会 活動報告

(平成 15 年 7 月 ~ 16 年 6 月)

委員長:大杉順、副委員長:平井克司

委員:松本裕夫、野村仲三郎、黒崎稔雄、鈴木啓道、吉田 稔、羽田規夫

・食べる文化・歩く文化・観る文化に触れて・・・。

会 議	開催日	会 場	内 容
委 員 会	H15.8.4	華賀きもの学院 ホール	委員会の例会担当月の企画 等の検討。
委員会担当例会 会場視察	H15.9.4	月の庭(亀山)	会場の確認、駐車場の確保、 例会の段取り、試食。
委員会担当例会	H15.9.18	月の庭(亀山)	スロー文化に接し、味わい、楽 しもう！ 「オーガニックに生きる 食 べる 語ろう」
委員会担当例会 会場視察	H15.10.19	県民の森、そばの華 Paramita Museum	県民の森ウォーキングコース 等の視察、Museum の会議室 の予約等。
委員会担当例会	H15.12.18	県民の森、そばの華 Paramita Museum	トライ・アンド・トライ。 食べて・見て・歩いて / 自然と 出会い。 懐深いアートに出会うとき。 県民の森ウォーキング、 「そばの華」で昼食 Paramita Museum の見学
3月特別例会 打ち合わせ	H16.1.8	鈴鹿サーキット	三交旅行と打ち合わせ 理事会へ行程等説明 (1月例会:会員へ詳細説明)
3月特別例会	H16.3.18・19	パピエラ御殿場	箱根彫刻の森美術館見学 パピエラ御殿場にて宿泊 MOA美術館見学 掛川花鳥園見物等

社会奉仕委員会 活動報告

(平成 15 年 7 月 ~ 16 年 6 月)

委員長：宮崎 仁、副委員長：天野武男

委員：加川恵庸、重田隆康、竹内 康、坪田榮吉、平岡玄次、堀内凱夫

開催日	行事内容	場所	参加数
H15. 10.16	例会：「不登校児童、生徒と対策」 講師：鈴鹿市立教育研究所長 樋口照明様 鈴鹿市の不登校の実態を伺い、11月活動の参考にした。	鈴鹿サーキット あかしや N05	24 名
11.11	「さつき教室」立上げ支援活動として、植樹、および周辺の環境美化を鈴鹿西RCに協働して実施した。 会員家族の提供するやきそばで昼食。 活動は新聞CATVに掲載された。	鈴鹿市高塚町 さつき教室	11 名
11.14	上記植樹作業は雨天のため途中で中止となり、残余の植樹と施肥の実施。	同上	3 名
H16. 2.5	公開例会：「高齢者の健康づくり教室」 講演者：田中誠一東海大学教授 健康シリーズの継続講座として、スポーツ医学の権威者の講演に外部参加者を交えて開催。話題が多岐に亘り有意義な講演で感銘。	鈴鹿回生総合 病院 3階 講義室	30 名 会員・家族 は 27 名
2.29	鈴鹿ベイRC主催の「はごろも並木復活作戦」の松苗植樹は、本年は降雨により、前日に止む無く活動を中止決定した。	鼓ヶ浦海岸	
5.1	例会：「埋れ木」鈴鹿クランクイン記念する小栗康平監督四作品上映会に参加。 実行委員長の松本会長より映画と「埋れ木」の説明。 例会終了後、駐車場整理担として開催を支援。	鈴鹿市文化会館 文化会館周辺	20 名 9 名
5.2	同上の 2 日目上映会に、駐車場整理担当として活動を支援。	同上	9 名

以上